

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811

TOPICS.1

第22回 定時株主総会開催



去る6月16日(木)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席をいただき、第22回定時株主総会を開催いたしました。

当日は、第21期(2021年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件に始まり、任期満了に伴う取締役および監査役選任の件など全5議案について審議、全て原案通り承認されました。

なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。

挨拶内容

本日は、各金庫総代会でお忙しい中ご出席いただき、誠に有難うございます。

近頃は、世の中がかつてないほど不穏な空気に包まれ、将来を憂う話が多くなっている気がいたします。

世界的には長引くウクライナ侵攻により、今この時も尊い命が奪われており、北朝鮮は相変わらずミサイル発射を繰り返している。このような中で、サスティナブルをトレンドワードのように使う昨今、もちろんそれは大事と理解しつつ、一発の爆弾で街も命も全てが吹き飛んでいく現実を見ると、虚しさともどかしさを感じざるを得ません。

戦後に生まれて、ずっと平和な時代に育った我々ですが、子供や孫の世代が絶対に不幸であってはならない、そういう世の中にはいけないと心から思い、平和ボケにならず、自分達に何ができるかをしっかり考えていかなければならぬと切に思います。

コロナ禍が長引く中、巨額な持続化給付金詐欺事件が続出し、中には現役国税局職員がいたりと、頭は良いのでしょうかが悪知恵ばかりが発達している人達を見ると、もはやこの国に性善説は通用しないのではないかとも思わせる事件も多発しております。

また、身近なところでは、道内で知床観光船沈没という痛ましい事故が起きました。今も行方不明のご遺族の方の心中を思うと、いたたまれない気持ちでいっぱいです。地元の網走信金様、隣接の大地みらい信金様も、心を痛めるご対応があったかと思いますが、これだけの犠牲者が出て初めて安全基準を見直し、実効性の無い机上の安全対策であったことが発覚したりと、本当に杜撰な運営が露呈された事故だったわけで、当社も直接

命に関わる仕事ではないにしろ、信用金庫の大切なデータを預かる会社として、改めて厳重な姿勢で会社運営していくことを心に誓った出来事でありました。

昨年、当社も創立20周年を迎ましたが、皆様のお陰で順調に成長させていただき、安定的な運営ができるようになったと思います。今決算では、当初見込みを上回る利益を計上しましたので、ささやかですが値引きという形で還元させていただきました。設立当時、僅か2~3の業務から始まった当社ですが、今やちょっとした情報系システムセンター・データセンターと言えるまでに成長したと思います。偏に、利用していただく金庫の皆様のご支援のお陰の何物でもなく、全道信用金庫の重要なインフラをお預かりしている会社ということを一層強く認識し、業務に邁進してまいりたいと思っております。

支えていただいているのは、もちろん全信用金庫の皆様ですが、その中で、一定期間で交代しながらも、直接当社運営に関わっていただいている取締役の皆様がいらっしゃいます。今期は改選ということで、これから議案の中で任期満了に伴う選任の件としてお諮りいたします。私事で恐縮ですが、現取締役については私が社長に就任させていただいてからほぼ一緒に方々で、これまで大きな動きは無かったものですから、今回が初めての変更になると思いますので、心中複雑な気持ちであります。

現取締役の皆様には、当社への一方ならぬご理解とご支援を賜り感謝の気持ちしかありませんが、どのような形になろうとも、当社は道内全信用金庫に少しでも貢献できるよう、尽力するだけですので、これからも変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願ひいたします。

会長就任 ご挨拶



代表取締役会長
伴 道弘
(網走信用金庫理事長)

この度、株式会社北海道しんきん情報サービスの会長に就任いたしました網走信用金庫の伴でございます。

前任の増田会長におかれましては、長きに亘り当社ならびに信金共同システム全体に対して、その卓越した識見と豊富な経験により、一言では言い表せない多大なる功績を残していただきました。

特に、確固とした「共同」の理念は、まさに信用金庫経営の根幹に通ずるものであり、その考え方は北海道のみならず全国の場でも積極的にご発言され、当時の全国共同センター組織統合に大変なご尽力をいただきました。

その後の当社運営に関しても、各地区の情報サービス会社としては全国に先駆けて、常勤社長体制を敷き、会社内の機動力向上と道内信用金庫に対し一層の安定的サービス提供ができるよう、旧態依然とした考え方から脱却した新たな組織作りに注力され、それを確実に形にした手腕には、心から感服するものです。

その後を継ぐ者としては、大変な重責を感じるところですが、今回選任された取締役の皆様、武田社長をはじめとする常勤役職員の皆様と一緒に、さらに道内株主信用金庫にお役に立てる会社として発展するよう微力ながら尽力したいと存じます。

昨今は、長期化する新型コロナウイルス感染拡大、激化するウクライナ情勢など不穏化する一方の世の中ですが、地域に根差し、地元のために奔走する信用金庫のために、より一層の良質なサービス提供ができるよう奮励努力してまいりますので、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひいたします。

取締役
および
監査役

代表取締役会長 伴 道弘 (網走信用金庫理事長)
代表取締役社長 武田 大二郎
常務取締役 池田 達哉
取締役 山田 隆秀 (室蘭信用金庫理事長)
取締役 宮井 清隆 (留萌信用金庫理事長)
取締役 高橋 常夫 (帯広信用金庫理事長)

取締役 森村 好幸 (釧路信用金庫理事長)
取締役 片山 隆文 (北見信用金庫理事長)
取締役 島田 光隆 (遠軽信用金庫理事長)
監査役 大沼 孝司 (日高信用金庫理事長)
監査役 関谷 忠 (北海道信用金庫協会専務理事)

第7回

信用金庫インタビュー

北見信用金庫



北見信金 事務部の皆様

- ATM電子ジャーナル集中保管システムは、現在7金庫にご利用いただいており、北見信金様には先進でご導入いただいております。ご導入の経緯をお聞かせください。

システム導入前まで、ATMジャーナルデータをロール紙およびCD-ROMで保管しており、個人情報の漏洩対策や保管場所の確保等に多くの手間や負担がかかっておりました。

このため、データを電子化(媒体レス)し、自動で収集・保管・検索ができるシステムがないかと探していたところ、HSISより「ATM電子ジャーナル集中保管システム」をご紹介いただきました。

- ご利用開始から4年が経過いたしましたが、システムの良い点をお聞かせください。

専用のクライアントPCから過去のジャーナルデータを閲覧できるため、検索作業の事務効率が上がっています。

また、導入当初は日立社製ATMのみ自動収集可能でしたが、2020年より沖電気社製ATMも自動収集可能となり、ベンダーに捉われることなく利用できるため助かっています。

- 今後、当システムに関する展望や期待していることはありますか。

現在は各社別に用意されたジャーナル閲覧システムを利用してますが、統合ポータル化によって、一つのシステムから各社のジャーナルを閲覧できるようになると、更に利便性が向上すると思われます。

■サービス概要図



■機種別比較表

	日立社製	富士通社製	沖電気社製
JNL保存期間	サーバ内：8年間 別筐体：8年間	サーバ内：3年間 別筐体：7年間	サーバ内：3年間 別筐体：7年間
収集タイミング	夜間バッチ	リアルタイム (取引ごと)	リアルタイム (取引ごと)
JNL保存場所	HSISサーバ	OSSサーバ	OSSサーバ

TOPICS.4

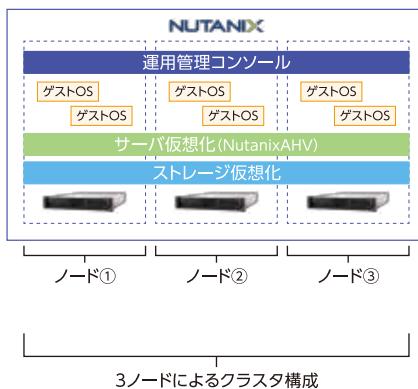
仮想基盤の増設について

当社の仮想サーバ事業につきましては、2015年に提供を開始して以降、お陰様で大変ご好評をいただき、現在は16金庫139サーバ(2022年5月末時点)が稼働するまでに成長いたしました。

本サーバは、本年度ご利用予定としてお見積り依頼をいただいたサーバの構築案件数が60サーバを超える多くの引き合いをいただいているため、今後も本基盤を安定稼働させるために設備の拡張をすることいたしました。

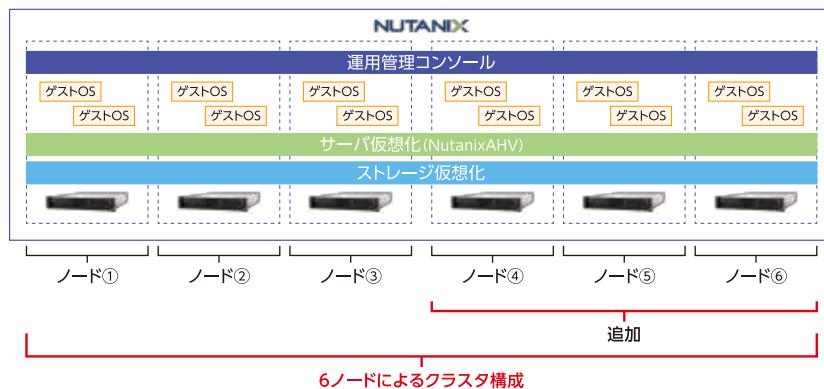
設備の拡張につきましては、本年9月頃の実施を予定しており、遗漏なく取り進め、安全・確実に運用して参りますので、引き続き当社仮想サーバ事業についてお引き立て賜りますよう何卒お願い申し上げます。

■現行



3ノードによるクラスタ構成

■増設後



6ノードによるクラスタ構成

TOPICS.5

出資配当金支払通知書作成サービス はがきタイプの取扱いを開始

出資配当金支払通知書作成サービスは、従前「封書タイプ」にて各金庫様の事業報告書等を同封し提供しておりましたが、今年度より「はがきタイプ」の取扱いを開始いたしました。*

「はがきタイプ」は「被災地支援型カーボン・オフセット付きはがき」を使用し、東日本大震災の森林整備事業へ利用料金の一部を還元することで「被災地復興支援」と「CO₂削減」の両面を図ることができ、地球環境配慮へ取組む姿勢をお客様にPRすることができます。

また、郵送費用も大幅に削減できますので、是非ともご利用のご検討を賜りますようお願いいたします。

*引き続き「封書タイプ」も取扱いいたします。

ご利用開始までのスケジュール

- 3月末迄:お申込み受付(毎年)
- 4~5月:版下作成、各種届出
- 6月:共同センターより配当金支払情報を受けた
3営業日後を目途にお客様へ郵送

■はがきイメージ



本サービスにご興味をお持ちの金庫様は、システム管理グループまでご連絡ください。▶ ☎ 011-233-1287

TOPICS.6

自動振替データ伝送用のISDN回線廃止に向けた対応状況

口座振替業務において契約企業とのデータ授受に利用しているISDN回線につきましては、2024年1月に廃止されることから、これに代わる伝送方式を昨年10月にご提供開始しております。

これまで各金庫が個別に契約をして媒体でデータを授受している企業や市町村についても、新伝送方式に切り替えていただくことで、媒体でのデータ授受による手作業が不要となりますので、金庫ご担当部門の事務作業の削減が可能です。

また、総合行政ネットワーク(LGWAN)を利用している市町村については、新たに回線を敷設することなく、既に利用されているLGWAN経由でデータを送ることができることもあり、本年5月末時点で4市町がADP接続に切替えいただき、6月からは1市の振込データの取扱いを開始いたしました。

本スキームでは、金庫のご担当部門だけではなく、金庫の契約企業・市町村も事務効率化を図れるものであり、この度の切替えに合わせて手数料を再考いただく機会にもなりますので、是非ともご検討賜りますようよろしくお願いいたします。

TOPICS.7

継続的顧客管理サービスの提供開始に向けて

当社にてサービス開始を目指している「継続的顧客管理サービス」につきましては、昨年12月から本年5月末まで3回に亘り仕様検討会を開催し、金庫様に基本サービス(DM作成・発送、WEB回答システム、発送先管理システム)の仕様をご相談し取り纏めて参りました。仕様の検討につきましては、先般開催した第3回仕様検討会(2022年5月31日)にて終了とし、今後は本年11月の提供開始に向けて開発を進めて参ります。

併せて、本サービスにおいて「紙回答のデータ化処理」、「郵便不着処理」をオプションサービスとして検討しておりましたが、本オプションを当社にて内製化してご提供することを先般文書にて正式にご案内申し上げました。本処理は、当社為替集中グループにて受託し、設備投資を最小限にすることで、初期・ランニングコストを抑えつつ、迅速・正確な処理を実現いたします。また、「コール対応」につきましては、提供スキームおよび価格のご案内に向け鋭意検討を進めております。

本サービスをオプションと共にご利用いただくことで、継続的顧客管理業務における金庫職員様の事務負担を大幅に軽減することができますので、是非ともご検討いただきますようお願い申し上げます。

「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2022」開催のご案内

当社展示会「北海道しんきんネットワークエキシビジョン」につきましては、2018年に開催して以降、新型コロナウィルス感染拡大の状況により開催を自粛しておりましたが、本年は4年ぶりの開催を目指して準備を進めております。

開催にあたりましては、北海道が示すイベント開催要件に基づき感染防止対策を十分に整え、安全に開催させていただく所存でございますので、各信用金庫・関係各社様には、何卒ご理解ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

■開催予定日:2022年11月11日(金) ■開催場所:ホテルニューオータニイン札幌

発行:株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811